

## ②旧福本家住宅

住所：奈良市学園南1丁目2-15  
※開催期間中以外は入館することができませんので、ご注意ください。  
※会場へは階段をお上がください。また、階段が急になっていますのでご注意ください。

|   |  |   |   |
|---|--|---|---|
| <b>藤村太一</b><br><p>1986年 兵庫県生まれ。2015年から独学で木彫を始め、制作内容は、木を彫るといふ古典的な行為はあるが、木彫だからこそ表現できる可能性を探っている。近年は身の回りに起きた出来事や見た光景をインプットし、それらの本質を自らの視点で屈折させた作品を制作。主な展覧会に、2021年 個展「Imitation or mimic」(千葉県文化ホール/大塚)、2020年 個展「REACTION」(voou/京都)、2019年「六甲マーケットアート芸術散歩2019」(記念碑台/兵庫)、2017年「F The Art World」(チェルシー/NY)など。</p> | <b>わにぶちみき</b><br><p>2012年 英国 ボーンマス 芸術大学大学院美術修士課程修了。2004年 近畿大学文芸学部芸術学科造形美術専攻卒業。第27回ホルベイン・スカラシップ奨学生(2012年-2013年)。人と人、人と場所、場所と記憶。わたしたちの作品は厳密にいえばその接点でしかないと考えている。こちらとあちらを繋ぎ、あちらを「理解」しようと一歩を踏み出させるトリガーとなる、「接点としての」作品をつくりつづけている。</p> | <b>藤原正和</b><br><p>1971年生まれ。2017年 VOLTA13(イス)、2018年 玉川高島屋SCアートウォール南館「階段」トランス展示。2018年 ぐしXII型藤原正和個展(同時代ギャラリー/京都)。2019年 アートストリーム(心斎橋 大丸心斎橋店/大阪)。2019年 KUNST RAU ART(オランダ)。2019年 ART OSAKA 2019(ホテルグランヴィア大阪)。2019年 UNKNOWN/ASIA 2019、2019年 OSAKA×MILANO DESIGN LINK 2019(ホテル日航大阪)。2020年 ぐしXII型 藤原正和個展 (gelatin/大阪)。2020年 UNKNOWN/ASIA 2020 ONLINE、2020年 美術倶楽部/東京) ほか</p> | <b>濱野裕理</b><br><p>心の内側にある心象を描きながら、自分自身の存在やそれを取り巻くいま現在の社会について考察しています。1986年 奈良県生まれ。2009年 京都造形芸術大学 造形学科 油画分野卒業。2017年「京都府新鋭選抜展 2017 - Kyoto Art for Tomorrow-」(京都文化博物館/京都)、2018年「神戸アートマルシェ 2018」(神戸メリケンパークオリエンタルホテル/兵庫)、2018年「東美アートフェア 2018」(東京美術倶楽部/東京) ほか</p> |
|---|--|---|---|

|   |  |   |
|---|--|---|
| <b>梶山美祈</b><br><p>私は全ての生命の中に神が存在すると確信しています。その神を把握するために作品を作っています。<br/>2020年 ことばを食べるカフェみずうみ「光射す」個展。2020年 学園前アートフェスタ pre「集合」(優秀賞受賞。<br/>2021年 岡本コミカ「共鳴」個展。<br/>2021年 artlivekobe。<br/>2022年 windfall gallery「境界線」個展。</p> | <b>クリスティーンフリントサト</b><br><p>自然界に触発されると、マクロとミクロの世界が見える。マクロの濃淡とミクロの線がある。イギリス人。1982-1992年 書を学ぶ(師：川邊清華・毎日書道)。1999-2002年 中国水墨画を学ぶ(師：李庚)。<br/>個展・2003年 Wall Gallery 大阪市。2011年 Gallery Den-Mym 京都府。2019年 門前おかげ楼生駒市。その他、多くのグループ展に参加。著書や所蔵。受賞歴も多数。</p> | <b>藤森太樹</b><br><p>1988年 兵庫県生まれ。神戸市在住、ペン画家。顔料インクのペンを主に墨や透明水彩を用いてペン画、細密画を制作。ペンにより描写された線は「言葉」を、透明水彩による描写は「感覚」を意味しています。作品制作を通して最終的に自身の内側に幼少の頃の記憶が存在し結び、唯一業というものの範疇とは全く隔絶された絶対的な「死」を伝える事が作家としての本懐であると考えています。個展やグループ展なども多数開催参加。</p> |
|---|--|---|

## ①GALLERY GM-1

住所：奈良市学園南1丁目3-2  
※ギャラリー内にて展示しています。

|   |
|---|
| <b>高田治</b><br><p>1985年兵庫県生まれ。主に金属と陶などを用いて制作している。自分の作品には、腕や脚が欠落しているもの、又は胴の一部に空洞があったりするものが多々あるのだが、これらは必要ではないと自分が感じた結果である。多分、自分も何か欠落していて、制作すればするほど、それと対峙することになる。そして、自分の欠落を知りは知るほど、理想とする形に到達し自分を知り、あきらめの様な気持ちとともに、開き直った自由のようなものを手に入れられたような気がする。</p> |
|---|

## ④大和文華館 駐車場

住所：奈良市学園南1丁目11-6  
※駐車場にて屋外展示しています。

|  |
|--|
| <b>馬淵洋</b><br><p>彫刻家、那道書家、特殊工作人、BQアーティスト、など。1969年生まれ。<br/>1988〜93年 金沢美大で彫刻を学ぶ。2012・14・16年 西宮船坂ビエンナーレ(兵庫県)。2015年 架空模型店六間模型(兵庫県)。2019・2015年 下町芸術祭(兵庫県)。2020年 生野ルートダージャン芸術祭(兵庫県)、芸術の杜(兵庫県)。</p> |
|--|

## ⑤中野美術館

住所：奈良市あやめ池南9丁目946-2  
※開館時間10:00〜16:00(最終日15:00まで)  
※美術館前にて屋外展示しています。

|   |
|---|
| <b>高松威</b><br><p>息がしやすい。風が吹き抜ける川の岸辺の雰囲気を感じます。コートピアのような大きさではない、等身大を最小律で示してくれる鉄で制作しています。「有限性の中で消えていく物事は、すぐそばで、気付くことも出来ない刹那に土に還り、風に消える。」</p> |
|---|

## ⑦Kitchen-Lab KACOM

住所：奈良市学園南3丁目2-11  
※作品は屋外にて展示しています。

|   |
|---|
| <b>モリン児</b><br><p>1962年 大阪生まれ。角材の支持体にコーラージュしてインスタレーションしています。展示空間がモリン児の世界になり体感して頂ければ幸いです。いきものを命つて体があってそこにあります。そこを見つめていくと、肉体が生命を持って動いている不思議さの奥には宇宙が広がって来ます。そのこのファンタジーを表現したいと思っています。</p> |
|---|

## ③浅沼記念館

住所：奈良市学園南1丁目7-15  
※開催期間中以外に入館することができませんので、ご注意ください。

|   |   |  |
|---|---|--|
| <b>澤田知子</b><br><p>成安造形大学写真クラス研究生を修了。現在は同大学客員教授、関西学院大学の非常勤講師。キャン写真新世紀、木村伊兵衛写真賞の選考委員をはじめ海外でも審査員として写真に関わる。学生の頃よりセルフポートレイトの手法を使い作品を通して内面と外見の関係をテーマに作品を展開。デビュー作「D400が2000年代キャン写真新世紀特別賞、その後2004年に木村伊兵衛写真賞、など受賞多数。</p> | <b>池原悠太+木ノ戸久仁子</b><br><p>池原悠太:<br/>2010年 成安造形大学造形学部卒業。再生をテーマに作品を制作しています。自然界を表す動物や、人間社会を象徴するノイズや人工物が混成する世界を描いています。水彩画や写真、テキストやコーラージュしていくことで、あらゆる事が大きな潮流の中で渾然一体となり循環していく様子を表現しています。あらゆるものは衰亡と再生のプロセスの中にあると考える。その過程に価値を見出しています。<br/>木ノ戸久仁子:<br/>1976年 滋賀県に生まれる。1995年 信楽窯入り窯元にて作陶をはじめ。若手オブジェ集団SEEDSに参加。1998年 ニュージーランドにて一年間作陶。2001年 信楽窯業試験所稲葉科修了。ニュージーランドにて作陶。2002年 京都にて築窯。2004年 滋賀県信楽町にて築窯。2011年 滋賀県比叡にて築窯。</p> | <b>杉本ひとみ</b><br><p>自然物の張りや柔らかさを感じるフォルムを用い、観る者の気持ちや心地よく逆なである「よくな、くすくす」と笑って楽し、世界観を生み出しています。2018年「craft trend fair」COEX(ソウル)。2019年「ART IT NOW」飯島うめだ、[EWAEE London] Posk Gallery(ロンドン)。神戸アートマルシェオリエンタルホテル、[KOGEI ART FAIR KANAZAWA] KUMU金沢。2020年「春色満開」松坂屋名古屋店。[遊遊色々] 福岡三越。2017-2020年 韓国水原大学助教。</p> |
|---|---|--|

|  |  |   |  |
|--|--|---|--|
| <b>中橋多恵子</b><br><p>「記憶を探りだしたプロセスは、作家自身の宗教感とパーソナルな経験から抽出したイメージを一度絵画にかき起こし、サンドペーパーで表面から削っています。あえて残したサンドペーパーは記憶が形を変え、自身の中に残り続けていくことを意味します。」</p> | <b>松村大地</b><br><p>2001年生まれ。切り絵を主とした作家活動や展示会の企画に関西にて拠点に展開。最近は、線を切り出すことを通じて、流動的な形体や仮象をテーマとした作品を制作。また、制作のみならず、領域横断的に芸術の地平を歩こうと思案。2018年 個展「完全か不完全か」(ギャラリーカフェCoe)。2020年 主催三人展「三篇の紙集」展(MIRAIEGALLERY)。2019年より、京都工芸繊維大学デザイン・建築学課程に在籍。</p> | <b>美和いちこ</b><br><p>1975年 福岡生まれ。2004年より大阪を拠点とするクリエイターチーム(kiske)に所属し、グラフィックデザイナーを生業にしながら2010年より樹脂を使用した立体造形の作品の制作をスタート。主に生成エチレン樹脂とピニル共重合体・炭化水素系樹脂とシリコンを使用し、自分の中心の心象風景と自然への畏怖を表現する事を追い求めて作品を制作。大阪を中心に、個展・グループ展・アートフェア多数。所蔵：福岡美術館 Furin-art 福林庵。</p> | <b>シュウ</b><br><p>現代美術家。現代芸術国際AU会員・元新象作家協会会員。『空神』シリーズ14作目は怒りを表す。1995年阪神・淡路大震災発生。『生きる重さ』を見つめる「大震災後も夜が明けける」を副題とした作品(身代わり空神は№97)を国内・欧州で発表し続ける。第48回新象東京本展展賞(最優秀賞)・京都府知事賞、市展公募1席7回(神戸・姫路・川西等)・2席10回受賞、芸術選出(木津川アート・はららあと等)。</p> |
|--|--|---|--|

## ⑧帝塚山学園18号館

住所：奈良市学園南1丁目6-27  
※馬淵洋、高松威の作品は1Fロビーにて屋外展示しています。

|   |   |
|---|---|
| <b>馬淵洋</b><br><p>彫刻家、那道書家、特殊工作人、BQアーティスト、など。1969年生まれ。1988〜93年 金沢美大で彫刻を学ぶ。2012・14・16年 西宮船坂ビエンナーレ(兵庫県)。2015年 架空模型店六間模型(兵庫県)。2019・2015年 下町芸術祭(兵庫県)。2020年 生野ルートダージャン芸術祭(兵庫県)、芸術の杜(兵庫県)。</p> | <b>高松威</b><br><p>息がしやすい。風が吹き抜ける川の岸辺の雰囲気を感じます。コートピアのような大きさではない、等身大を最小律で示してくれる鉄で制作しています。「日常の中に生活が流む。日々が暗くかすみ、たしかに覚えていることはあまりない。忘れかけていく事が自覚でき、覚えている事が巡遊させる。」</p> |
|---|---|

奈良市立一条高等学校 絵画部 有志(2Fエントランスホール)  
奈良市立京西中学校 美術部 有志(1Fエントランス)  
奈良女子高等学校 [総合進学コースデザイン選択] (1Fエントランス)  
地元住民展(2Fラウンジ・1Fエントランス)

## ⑨奈良市西部会館

住所：奈良市学園南3丁目1-5  
※Yutanは3F学園前ホールラウンジ。下野友嗣は5F西部公民館壁画ギャラリーに展示しています。

|  |  |
|--|--|
| <b>Yutan</b> (3F学園前ホールラウンジ)<br><p>14年間指定難病で「外出できない」「食べられない」といった生活の不自由を経験。暮らしを整え、自然と触れ合う暮らしの中で「あらゆる物事すべて繋がっている」と気づき、病気や克服、動物、植物、日々の風景などを、廃棄物とアナログ画材を使い、独自の色彩感覚で作品制作。小さな喜びを大きなしあわせと感じる心を育て大切に、書籍や公式ブログとして日々綴り、作家としても多方面で活動中。</p> | <b>下野友嗣</b> (5F西部公民館壁画ギャラリー)<br><p>1984年 兵庫県生まれ。2007年 大阪芸術大学美術学科卒業。2017年 千葉市に転居。関西を中心にその他、各地域(海外含む)にて、芸術祭、アーティストレジデンス、アートフェア、グループ展、ワークショップ等を行っている。</p> |
|--|--|

帝塚山中学校高等学校 写真部(5F西部公民館壁画ギャラリー)

## タイアップ企画 大和文華館

特別展 「住吉広行 ― 江戸後期やまと絵の開拓者 ―

江戸後期やまと絵界で大きな役割を果たした住吉広行をメインにとりあける日本で初めての展覧会です。その勤勉な学習姿勢や精緻で豪華な描写にご注目ください。

会期：令和4年10月8日(土)〜11月13日(日)  
開館時間：午前10時〜午後5時(入館は午後4時まで)  
入館料：大人950円、高校・大学生730円、小学・中学生無料  
※20名以上の団体は相当料金の2割引で引率者1名無料 ※「障がい者手帳」をお持ちの方とご同伴者1名2割引  
会場：大和文華館 〒631-0034 奈良市学園南1丁目11-6 電話：0742-45-0544 FAX:0742-49-2929



住吉広行筆「源氏物語須磨巻絵巻」(部分) 齋宮歴史博物館蔵



## ⑩パラディ学園前

住所：奈良市学園北1丁目9-1  
※北館 2Fトイレ前の会議室にて展示しています。  
近鉄学園前駅を中心としたまちづくりリアルバム 2020年選考展ダイジェスト映像、地元住民展

## ⑪大和キリスト教会

住所：奈良市学園朝日町5-15  
※11月6日(日)は13:00からの開場となります。

**地域の子どもたち×中元俊介**  
地域の子どもたちを対象に開催したワークショップで出来上がった作品の展示です。講師・監修は2020年開催の選考展pre festaに出展した中元俊介が担当。

帝塚山大学現代生活学部居住空間デザイン学科 地元住民展

## タイアップ企画 中野美術館

秋季展 「小出楢重・須田国太郎から元永定正まで ― 関西ゆかりの作家たち ― 「近代の日本画」

小出楢重や須田国太郎の洋画から1980年代の元永定正の版画まで、関西にゆかりのある作家の特色ある作品をお楽しみください。横山大観、村上華觜、富田溪仙などの日本画展も同時開催いたします。

会期：【前期】令和4年9月10日(土)〜10月10日(月・祝) 【後期】令和4年10月15日(土)〜11月13日(日)  
休館日：毎週月曜日 開館時間：午前10時〜午後4時 入館料：一般600円、シニア(65歳以上)：大・高生500円、中・小生250円  
会場：中野美術館 〒631-0033奈良市あやめ池南九丁目946-2 電話・FAX:0742-48-1167



小出楢重(天神橋風景)

元永定正(さとう)